

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

ビキセオス療法 【寛解導入】

2～5 週毎 1～2 コース予定

疾患名 急性骨髄性白血病

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()

スケジュール

【1コース目】

《注射》		day1	day3	day5
ビキセオス(ダウノルビン・シタラビン)	100 U/m ²	↓	↓	↓

【2コース目】

《注射》		day1	day3
ビキセオス(ダウノルビン・シタラビン)	100 U/m ²	↓	↓

【注意】

- * 1サイクル目に寛解に到達せず忍容性が良好な場合、1サイクル目の投与開始から2～5週間後に2サイクル目を開始
- * ダウノルビンとしての総投与量は25 mg/kgを超えないこと
(ビキセオス1 U中にダウノルビン/シタラビンとして0.44 mg/1 mg)
- * 点滴ポンプからCVCまたはPICCで投与し、インラインフィルターは使用しないこと
- * 調製後ただちに投与しない場合は2～8℃で保存し、調整後4時間以内に投与開始すること

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

【1 コース目】

Day 1

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| ① 生食 500 mL にて血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② グラニセトロン 3 mg | 側管静注 |
| ③ アロカリス 235 mg + 生食 100 mL | 点滴静注30分(200 mL/時間) |

ビキセオス療法【寛解導入】

◎メインの生食でフラッシュ

④ ビキセオス U + 注射用水 適量 + 生食 500 mL 点滴静注90分(360 mL/時間)

Day 3, 5

① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

② グラニセトロン 3 mg 側管静注

◎メインの生食でフラッシュ

③ ビキセオス U + 注射用水 適量 + 生食 500 mL 点滴静注90分(360 mL/時間)

【2 コース目】

Day 1

① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

② グラニセトロン 3 mg 側管静注

③ アロカリス 235 mg + 生食 100 mL 点滴静注30分(200 mL/時間)

◎メインの生食でフラッシュ

④ ビキセオス U + 注射用水 適量 + 生食 500 mL 点滴静注90分(360 mL/時間)

Day 3

① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

② グラニセトロン 3 mg 側管静注

◎メインの生食でフラッシュ

③ ビキセオス U + 注射用水 適量 + 生食 500 mL 点滴静注90分(360 mL/時間)

ビキセオス療法【寛解導入】

	1コース目			2コース目	
	day1	day3	day5	day1	day3
月 日	/	/	/	/	/
ビキセオス 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
確認					